

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

新＝新規事業、**拡**＝拡充事業 (事業名の頭に標記)

新ブックスタート推進事業 78万円

(担当：栗原市立図書館)

3～4ヶ月児健診の際に、絵本を開く楽しい体験とメッセージを伝えて絵本を贈り、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心ふれ合うひとときを持つ、きっかけを作りました。

年間36回開催、470人の参加がありました。



子どもたちへ贈られる絵本とバック

地域子育て支援センター運営事業

1,430万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

地域全体で子育てしやすい環境を推進するため、育児不安を抱える母親の相談や子育てサークル等の育成支援を行うセンターを市内10地区で行いました。



「お月見会」の様子

児童虐待防止対策事業

367万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

児童虐待をなくすため、地域協議会を開催し、関係機関の連携や相談等の対策を講じました。また、児童虐待防止に関する専門的な研修を実施し要保護家庭を支援するスタッフの資質の向上を図りました。

放課後児童クラブ等運営事業

6,604万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

共働き家庭などの、おおむね10歳未満の児童を預かり、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図るため、市内全地区で放課後児童クラブ等を実施しました。

特定不妊治療費助成事業 100万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

高額な治療費がかかる体外受精などの特定不妊治療を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、その費用の一部を助成しました。

すこやか子育て支援金支給事業

2,103万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

子育てを応援するため出生祝金、入学祝金を支給しました。

・出生祝金	第1・2子	2万円
	第3子	5万円
	第4子	10万円
	第5子以降	20万円
・入学祝金	第3子以降	10万円



拡子ども医療費助成事業 4,665万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

子育て家庭における経済的軽減を図ることを目的に、これまで実施していた小学生・中学生の入院医療費の一部助成に加え、平成23年度からは、新たに通院に係る医療費の一部助成も行いました。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

一時保育事業 1,082万円
(担当：子育て支援課保育サービス係)

保護者のパート就労や病気、冠婚葬祭、育児等に伴う心理的・肉体的負担の解消等のため、市内10か所の保育所において、一時的(緊急的)にお子さんを預かる事業を実施しました。



自由時間中の保育の様子



乳幼児健康診査の様子

母子保健健康診査事業 5,928万円
(担当：健康推進課保健指導係)

妊婦の異常の早期発見・早期治療を促すとともに健康管理の向上を図るため、新たな検査を加えた妊婦一般健康診査費用の助成を行いました。

また、乳幼児の疾病、又は異常の早期発見・早期治療を促すため、2か月・8か月児の医療機関での健康診査費用の助成や乳幼児健康診査、育児相談などを行いました。

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

健康診査事業 1億6,689万円
(担当：健康推進課健康推進係)

生活習慣病及びがんの予防・早期発見のため、健康診査や各種がん検診を実施しました。
また、がん検診推進事業として、対象年齢の方に大腸がん検診の無料クーポン券の配布や胃がん検診を申し込まなかった方に受診勧奨の通知をするなど、受診率の向上に努めました。



健康診査の様子

予防接種事業 1億6,117万円
(担当：健康推進課健康推進係)

感染のおそれがある疾病の発症及び重症化防止並びに蔓延を予防するために予防接種事業を行いました。

(ポリオ、BCG、三種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風)麻しん、風しん、日本脳炎、小児用肺炎球菌、ヒブ、水痘、おたふくかぜ、子宮頸がん、高齢者肺炎球菌、高齢者インフルエンザの予防接種など)

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

新＝新規事業、**拡**＝拡充事業 (事業名の頭に標記)

新消費生活相談事業 502万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

契約や電話勧誘販売など消費生活での困りごとに関して、専門知識と経験のある消費生活相談員を配置して相談に応じました。

[相談実績]

通信販売、訪問販売、電話勧誘販売などに対する相談 86件

[相談窓口]

月曜日～金曜日 9時～16時まで
(祝日・年末年始除く)

専用電話 0228-22-1501

[相談場所]

築館農村環境改善センター 1階事務室
(市役所本庁舎隣、ふるさとセンター)

拡いのちを守る緊急総合対策事業

1億328万円

(担当：社会福祉課社会福祉係
・健康推進課保健指導係)

平成19年度から自殺防止キャンペーンや多重債務専用の電話相談、弁護士相談、栗原市のぞみローンの資金融資などで自殺防止対策に取り組んでおり、問題解決に至るなど、自殺者数も年々減少してきています。今年度は、新たに小中学生等を対象とした金融講座などの普及啓発事業を実施しました。



メンタルヘルス研修会の様子

拡地域活動支援センター・小規模作業所運営事業

2,071万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

障害者等に創作活動や生産活動の機会を提供するほか、社会との交流促進を図りました。



小規模作業所内活動の様子

日常生活用具給付等事業 1,726万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

重度障害者等に対し、日常生活の便宜を図るため特殊寝台や紙おむつなど日常生活用具の給付、または貸与を行いました。

移動支援事業 306万円

屋外での移動が困難な障害者に、外出する際の支援を行いました。

コミュニケーション支援事業 60万円

意思疎通を図ることが困難な障害者に、手話通訳者等の派遣を行い意思疎通の支援を行いました。

(担当：社会福祉課障害福祉係)



日中一時支援事業 347万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

障害者に日中活動の場を提供し、家族の就労支援や介護の負担を軽減するための支援を行いました。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

相談支援事業 1,960万円

障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供を行いました。

自動車運転免許取得・改造助成 33万円

障害者が自動車運転免許を取得したり、自動車を改造する費用の一部を助成しました。

訪問入浴サービス事業 335万円

自宅での入浴が困難な身体障害者に対し、訪問入浴サービスを行いました。
(担当：社会福祉課障害福祉係)



相談支援事業の様子

(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します

高齢者福祉タクシー利用助成事業 480万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

通院が困難な低所得の高齢者に対し、通院時のタクシー利用料金の一部を助成しました。

緊急通報体制等整備事業 244万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

ひとり暮らし高齢者等に対し、家庭用緊急通報システムの貸し付けを行いました。

「食」の自立支援事業 882万円

ひとり暮らし高齢者等に対し、宅配による給食サービスを行いました。

軽度生活援助事業 725万円

ひとり暮らし高齢者等に対し、ホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活上の援助を行いました。(家事援助)

(担当：社会福祉課社会福祉係)

生きがい活動支援通所事業 2,254万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

家に閉じこもりがちな高齢者に対し、通所によるサービス(ミニデイサービス)の提供を行いました。



生きがい活動支援通所事業の様子

日常生活用具給付事業 10万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

ひとり暮らし高齢者等に対し、電磁調理器等の日常生活用具を給付、または貸与を行いました。

高齢者日常生活支援業務利用助成事業

121万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

ひとり暮らし高齢者等に対し、庭の清掃や除雪作業などの日常生活の支援に係る経費の一部を助成するため、日常生活支援業務助成券(シルバー人材センターが行う日常生活支援業務に限り使用できる)を交付しました。(生活援助)

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

栗原ブランドの確立・支援事業

1, 008万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

インターネットショップや商品カタログによる通信販売を活用したダイレクトマーケティングの推進を支援し、消費者に求められる付加価値の高い栗原ブランドの確立を図りました。



「くりはらいっぱい新聞」にて栗原産品をPR

“くりはらさん”の詰め合わせ「なつかしセット」

くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

906万円

(担当：畜産園芸課畜産振興係)

優良肉牛資源の拡充と産地化を図るため、市内で生産された優良素牛を自家保留及び導入した場合に助成を行いました。

なお、産肉能力の高い茂洋産子しげひろの場合には加算して助成しました。

助成実績 284頭(うち茂洋産子22頭)



宮城県基幹種雄牛「茂洋」しげひろ

安全・安心な栗原米生産流通対策事業

2, 385万円

【H24年度への繰越額 1, 848万円】

(担当：農林振興課農政係)

安全・安心な栗原米の生産流通対策として、土壌分析器整備事業に対する助成や土壌改良剤の散布を行いました。

米消費拡大推進事業

48万円

(担当：農業政策推進室)

米の消費拡大を図るため、各種団体が実施する料理講習などに対して「米パン焼き器」の貸し出しを行いました。



米パン焼き器の調理実演会の様子

ペレットストーブ購入事業

100万円

(担当：農林振興課林業振興係)

森林資源の有効活用と二酸化炭素削減の啓発を図るため、栗駒地区のみちのく伝創館にペレットストーブ2台を設置しました。

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

新＝新規事業、**拡**＝拡充事業 (事業名の頭に標記)

くりはらイノベーションプロジェクト

209万円

(担当：企画課企画係)

市は電気自動車の自動運転システム実証実験を皮切りとして、慶應義塾大学が研究を進める将来的な気候変動の影響と適応策を検討する「グリーン社会ICTライフインフラ」研究プロジェクトを支援しています。

今年度は、栗原で安心して暮らすための適応策づくりに取り組み、最先端の情報通信技術により、エネルギー消費の情報を測定し効率的に利用することや、遠隔からの健康(医療)相談、災害発生時の情報通信などの研究支援を行いました。



災害情報緊急ホットラインシステム

拡雇用拡大奨励金

1,740万円

新規学卒者等(市内に住所を有する高等学校卒業後3年以内までの者)を新たに常時雇用した市内企業に対して、雇用者数に応じて助成を行いました。

企業立地促進奨励金 1,277万円

市内に新設・移設・増設した企業に対し、投資規模に応じ固定資産税相当額を助成しました。

雇用促進奨励金 410万円

市内に住所を有する者を3人以上新たに常時雇用した市内企業に対し、その雇用者数に応じて助成を行いました。

(担当：産業戦略課企業戦略係・商工振興係)



就職希望高校生と市内企業の出会いの場
「くりはらジョブ・フェア2011」の様子

新新産業創出支援事業

500万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

新たな産業と雇用の創出に向けて、市内の企業が大学や研究機関などとの連携による新製品の開発・研究に対して助成を行いました。



有機薄膜太陽電池の実証実験

ものづくり企業活性化事業

120万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

地域経済の活性化を図るため、企業連絡協議会を中心として新たに事業展開ができるよう企業情報・投資環境情報発信事業に対して助成を行いました。



第4回国際カーエレクトロニクス技術展の様子
(平成24年1月18日～20日開催)

中小企業振興資金

3億2,763万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

市内で操業する中小企業者に対し資金融資のあっせんや、保証料等を助成しました。